



未来のものづくりと 地方のDXを支える

高等専門学校への支援

- ▶ Society 5.0 を見据えた工業系の高度人材を育成する高等専門学校は、日本の産業の競争力強化のために重要であり、地方における設置への支援を図られたい。

【提案・要望先】内閣府、文部科学省、経済産業省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 令和の時代の高等専門学校の設置に係る支援

- 教員確保、カリキュラム検討等に関する専門的な助言など、
令和の時代の（仮称）滋賀県立高等専門学校の設置に向けた検討の支援
- 未来のものづくりと地方のDXを支える高等専門学校の設置に係る財政支援

(2) 技術者への憧れを育む機会やキャリアパスの充実

- 幼少期から段階に応じて科学技術・工業技術への関心を高める機会の充実
- 高等専門学校卒業生の更なる活躍や処遇の改善に向けた産業界への働きかけ

2. 提案・要望の理由

- 日本が将来にわたり競争力のある力強い産業を創出し、今後も持続的に発展していくためには、多様な学びの選択肢により若者の技術者への夢を育むとともに、地域や世界の社会的課題を解決する起業家・イノベーター、AIやデータを活用することができる実践型人材など、高度人材の育成が不可欠である。
- 中でも、高等専門学校の実践を伴った技術教育は、既に企業からも高く評価されているが、Society5.0の実現やDXを含め、日本の産業競争力の再強化を図る令和の時代にこそ、新たな学びのスタイルとともに更なる価値が見出されると考える。
- このため、第二次産業の割合が48.9%（県内総生産構成比）と全国有数の内陸工業県である本県の特性を生かし、20年先を見据えた未来のものづくりを志すとともに、新たな技術を地域に実装し、地域の持続可能な豊さに貢献できる人材を滋賀から生み出すべく、高等専門学校への設置に向けた準備を行っているところ。産業界とともに、技術者への憧れを育む機会の提供やキャリアパスについても併せて検討する。

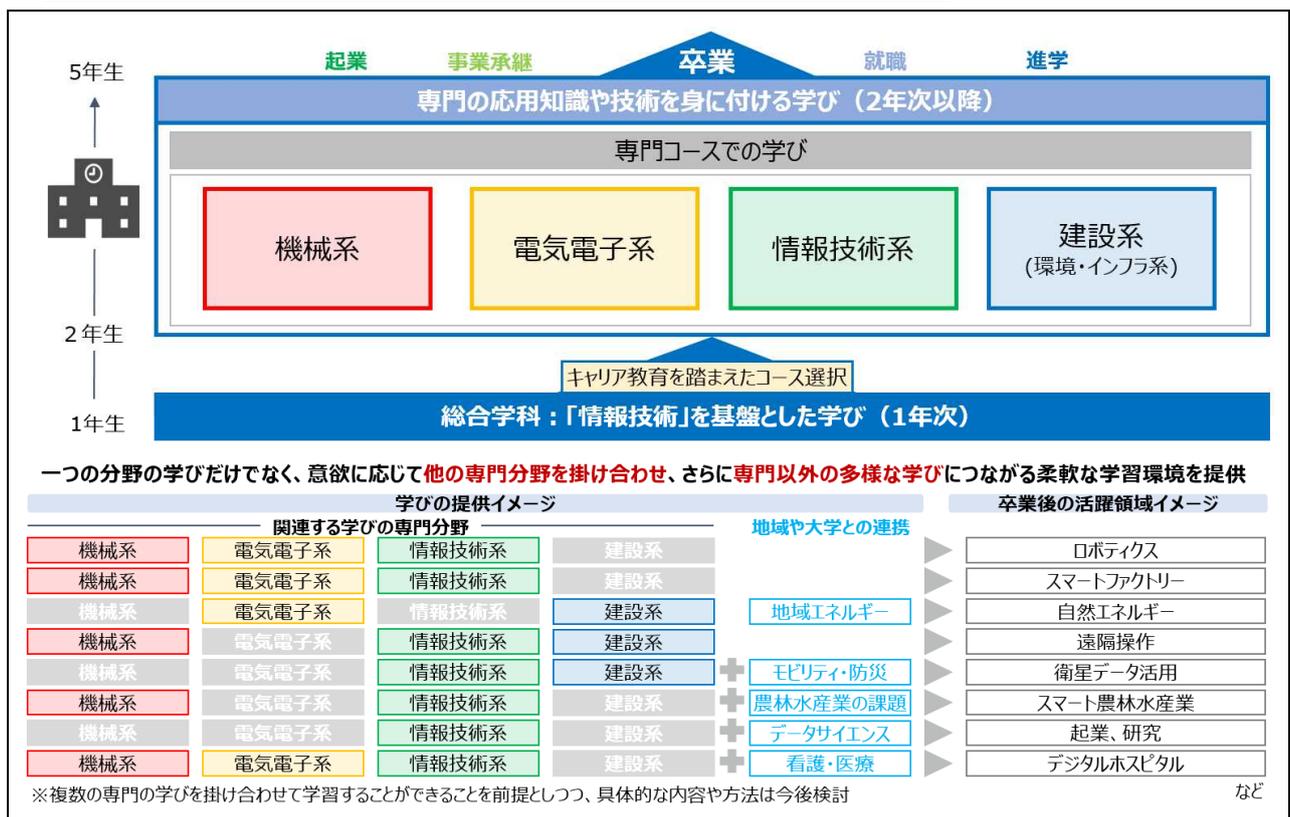
(本県の状況と課題)

【高専開設準備室を設置】

- 産業人材の育成に向け、滋賀初の高等専門学校（高専）の設置準備を進めており、令和4年4月1日には、設置運営主体である公立大学法人滋賀県立大学に「高等専門学校開設準備室」を設置した。今後、県とともに教育カリキュラム、学校運営組織や立地場所など、ソフト・ハード両面の準備を加速させる。（1学年120名規模を想定）

【新たな学びのスタイルを考案中】

- 未来のものづくりと地方のDXを支える人材を育成するために、新たな高専では、情報技術をベースに、学生が様々な学びを自由に掛け算し、技術を応用する力も伸ばすことで、変化の激しい社会を生き抜く力を磨く。そのための新たな学びのスタイルを探る上で、「AI戦略」や「未来の教室」、「i-Construction」をはじめとする国の取組から学びたく、助言や意見交換の機会などの技術的支援が必要。



「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子(令和4年3月)より

【本県の取組およびスケジュール】

- 令和9年春の開校を目指して、設置準備を加速させる。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
構想骨子策定	場所の選定 基本整備計画 基本構想	PFI事業者決定 教員の確保	施設設計 シラバス策定	着工 認可申請	竣工 認可（目標）

令和9年春
開校目標

担当：総合企画部企画調整課企画第三係 TEL：077-528-3319